

会議名	第1回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和2年7月30日(木)14時～15時30分
場所	厚木市役所本庁舎3階特別会議室
出席者	出席者 13人 厚木市観光振興推進委員会委員8人 オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長) 事務局4人(産業振興部長、観光振興課長、観光振興係長、観光振興課副主幹)

会議の経過は次のとおり。

1 開 会

厚木市産業振興部観光振興課長

2 挨拶

厚木市観光振興推進委員長
厚木市産業振興部長

3 議 題

(1) 第2次厚木市観光振興計画の策定について 議事進行：委員長、説明：事務局
資料1～3に基づき説明。

ア 厚木市観光振興計画策定の趣旨等について(資料1)

【意見等】

特になし。

イ 計画策定の基本的な考え方について(資料2)

【意見等】

(委員)

新型コロナウイルスの感染が拡大している現状を踏まえたうえで計画を策定するのか。それとも、通常時の状態で考えるのか。

(委員長)

今回のような、感染症が拡大し人々の活動が制限されるような状況になるのは、今後も起こりうることだと認識し、策定すべきである。

(事務局)

新型コロナウイルスの感染は今後収束していくものと思われるが、次年度以降の計画を策定するに当たっても、感染症への対応のような事象を考慮した上で計画を策定する必要があると考えている。

(オブザーバー)

観光産業の根本を揺るがされるような危機的状況下のなかで、基本計画の中に新型コロナウイルスに関する記載がなされていないのは問題である。今後の新しい生活様式を踏まえた計画を策定していくためには、基本的な考え方の中にもその旨を記載すべきである。

現行の観光振興計画を推進する上で、観光協会として様々な取組を行ってきたが、1ページ「(1) 現行計画における市の主な取

組」の「イ 内なる醸成」を見ると、「厚木市観光協会との事業拡充」という言葉にすべてが集約されてしまっている。本計画を策定する際には、現計画に沿って観光協会で行った具体の事業について記載をしてほしい。

また、1ページの「(1) 現行計画における市の主な取組」の「ウ 外との連携」を見ると「新東名高速道路の全線開通に向けた広域観光振興戦略の策定」とあるが、委員の皆さんは内容をご存じないため、会議の参考資料として配ったほうが良かったのではないか。

(事務局) 5ページの「(2) 施策の体系」の中に、「基本方針3-③ 観光客の安心・安全確保のための体制づくり」を挙げているが、コロナ対策に関する内容を計画の中に盛り込んでいきたい。

観光協会の事業に関する記載の件は、要点だけに絞って記載した。策定する計画の中には、事業の詳細まで記載する。

(委員長) 本計画は次年度からの計画になるので、表記は「新型コロナウイルス対策」ではなく「感染症対策」として、感染症全般が考慮すべき対象になるように記載するべきである。

また、施策の基本方針をSDGs(持続可能な開発目標)の内容と対応させているが、持続可能な観光のあり方を考えるなかで、「感染症対策」の内容も含まれてくるものと思われる。

(委員) 新型コロナウイルスの感染が日々拡大しており、お客様を気軽に呼び込めない状況にあることから、現場の戸惑いも大きい。受け入れ側が安心・安全な受入体制を確立していく必要がある。

(委員長) 今後、お客様に安心して足を運んでもらうには、事業者が実施している感染対策の内容を、お客様に発信していくことが大事になる。ホテルではどのような情報発信をされているのか。

(委員) 神奈川県で実施している「LINE コロナお知らせシステム」を登録し、店舗にもチラシを掲載することで、お客様が安心して利用できるようにしている。なお、本システムへの参加の有無は店舗によってまちまちである。

(委員長) 感染症対策についてはもちろんのこと、次年度開催される東京オリンピック・パラリンピックに関連するような内容も、計画の中に盛り込むべきである。

(委員) 5ページの「(2) 施策の体系」の中で、「基本方針4 広域観光の推進、関係事業者等との連携」の記載があるが、記載の順序を上から2番目にすべきなのではないか。箱根などの有名観光地も皆苦勞している中で、厚木の観光における知名度はそれほど高くないことから、近隣市町村との連携をより強化していかなければ、事態の打開は難しい。「宮ヶ瀬」「大山」といった地域の核となる観光資源から、どうやって厚木に足を運んでもらえるかについて考えることが重要である。そのためにも、「広域」での観光振興を前面に出した計画にしてほしい。

また、今後6年間の計画であることを踏まえて、厚木秦野道路からの七沢飯山へのアクセス道路の建設等、ハード面の受入整備も

- (事務局) 踏まえていいのではないか。
基本方針の体系を作るにあたって、事務局側でも「広域観光の推進」が重要になると考えている。
- (委員) ハード対策を本計画の施策として位置付けることについては難しい部分もあるが、記載の仕方を検討したうえで盛り込みたい。
宮ヶ瀬ダムは、全国的にも人気のダムとして知られているようである。
小田急電鉄では、宮ヶ瀬周辺を巡る周遊券「宮ヶ瀬ダムハイキングパス」を販売しているが、販売数はそこまで伸びていないことから、宮ヶ瀬へは車で向かっている方がほとんどであると考えられる。
観光PRについて、弊社でも地域連携の一環で協力したいと考えており、観光情報に関するツールを提供頂くことで、沿線住民に向けた情報発信ができると思う。

ウ 計画策定に当たっての調査事項について（資料3）

【意見等】

- (委員) アンケートはどのように実施するのか。
- (事務局) WEBを使ったアンケートを予定しており、アンケート調査会社が有するモニターを対象に実施する形になる。
- (委員) 私は是非アンケートに答えたいと思っている。その場合、どのようにすれば回答できるのか。
- (事務局) 現在の方法では、WEBアンケート方式はアンケート調査の委託先のシステムに登録している方が対象、紙方式は当選者に向けたプレミアム付き観光券の応募者が対象となっている。
プレミアム付き観光券の応募者だけでなく、アンケートに答えたいと思っていただける市民の方についても回答できるような形で実施方法を検討したい。
- (オブザーバー) 市外向けアンケートについて、近隣地域からの誘客が多い厚木市の現状を踏まえると、広域的にアンケートを取る必要はないのではないか。また、観光資源の認知度調査について、厚木市民でも知らない人がいるような観光資源については、他県民は知らない可能性が高く、あまり聞く意味がない。対象地域や質問内容・選択肢について、精査いただきたい。
また、市民向けアンケートについて、現行計画で実施している施策の評価など、政策的なことについて問う質問が含まれている。観光事業者向けに行うのであれば問題ないが、厚木市民が答えるのは難しいと思われる。調査対象を見直すか、市民向けで行うのであれば、市民が答えやすいような質問内容と選択肢にしていきたい。
- (委員) 同じく、質問内容に違和感を覚える。愛知県・長野県などの広域の住民に対してアンケートする必要はないように思う。また、アンケートを回答するに当たって読むべき情報が多く、答える側も面倒である。5段階で観光資源を評価するなど、簡単に回答でき

- (事務局) る方法を検討してほしい。
市外向けアンケート調査は、調査対象者を近隣の都県に絞り、質問内容は厚木市の魅力度や認知度、イメージなどを聞くものとする。また、市民向けアンケート調査はもう一度質問内容を精査したい。
- (委員) 市外向けのQ1で認知調査があるが、「行ったことはないが、知っている」もしくは「知らない」を選択してしまうと、厚木市の観光について何も聞かずに属性へ飛ぶような形になってしまっており、十分なサンプルが取れない恐れがある。厚木市を「知らない」人にも尋ねられるような質問を加えたらどうか。
- (事務局) アンケートの質問内容について、ご指摘の内容を踏まえて事務局内で再度検討し、後日委員の皆様を確認いただく段取りで進める。

(2) 厚木市観光振興条例の運用状況について 議事進行：委員長、説明：事務局
資料4-1、4-2に基づき説明。

【意見等】

- (委員長) 今年度、コロナの影響などで中止になった施策があれば教えていただきたい。
- (事務局) 事務局で事業中止について把握しているものは、以下のとおりである。

記載ページ	No	R2年度実施計画
2	2	園芸振興対策事業
3	9	花苗の即売会等のイベント
	10	にぎわい爆発あつぎ国際大道芸
4	11	あつぎジャズナイト(延期)
	12	南口ホコ天まつり
	13	かながわグルメフェスタ
5	14	第74回あつぎ鮎まつり
	15	第56回あつぎ飯山桜まつり
15	11	グリーンキャンペーン(延期または中止)
17	3	厚木スマートインター周辺の整備事業
20	7	第43回市民体育祭 2020あつぎマラソン 第18回あつぎスポーツレクリエーションフェスティバル 第9回ちびっこマラソン&駅伝競走大会 第67回あつぎ駅伝競走大会
21	2-3	かなキャラ大集合!

- (委員長) 17ページのNO.1「令和2年度あつぎ協働大学」も、今年度は中止になったと聞いている。また、23ページのNO.13「観光宣伝費」の予算について、今年度大きく減額されているのはなぜか。
- (事務局) 令和元年度は新たにPR動画を製作したため予算額が大きくなっているが、令和2年度は昨年度作った動画を配信する事業になるため、予算額

は減額されている。

4 その他 議事進行・説明：事務局

配布資料「ぐるっと丹沢・大山×宮ヶ瀬スタンプラリー」台紙・「あつ得キャンペーン」チラシ・「広報あつぎ（2020.8.1号）」について説明。

【意見等】

(事務局) 「あつ得キャンペーン」の「プレミアム付あつぎ観光券」は主に厚木市民向けに販売するが、「あつぎ観光クーポン券」は厚木市民の方、厚木市外の方ともに利用可能となる。キャンペーンの詳細は厚木市観光協会のホームページに記載があるので参照頂きたい。

(委員) 「広報あつぎ（2020.8.1号）」へのキャンペーンPR記事の掲載について、議会の話が書かれている中面に記事を掲載しても、議会に興味のない人は読み飛ばしてしまう恐れがある。今後は、多くの読者の目に留まりやすいと思われる、表紙もしくは裏表紙あたりに載せたらどうか。また、「あつ得キャンペーン」の「あつぎ観光クーポン券」について、宿泊当日ではなく、次回の宿泊代をクーポンで割り引くという仕組みであるが、少し煩雑な気がする。群馬県など既に県民向けの宿泊割引キャンペーンが行われているところでは、宿泊当日にフロントで運転免許証等の身分証明書を見せるだけで、その日の宿泊代が割引される場所もあるようである。今後キャンペーンを行う際には、誰でも簡単に割引を受けられる仕組みを検討してもいいと思う。

次回の会議は、9/10（木）午後で調整する。

5 閉 会

以上